

しがアートフェスタ

2022.10.9 [SUN]

10:00~16:00

in アグリパーク竜王

入場無料

ステージイベント

10:00~ オープニング

1 10:05~ 出演：笑福亭伯枝

落語ワークショップ

落語に出てくるいろんな「しぐさ」をみんなでやってみよう！



2 10:30~ 出演：滋賀県立湖南農業高等学校

花いけバトル(花いけパフォーマンス)

湖南農業高校園芸装飾班では花に関する資格の取得を目指し、日々勉強しています。即興で花をいけ、競い合う「花いけバトル」で日々の成果を披露します！！



3 11:30~ 出演：滋賀県立伊吹高等学校書道部

書道機動展示(書道パフォーマンス)

伊吹高校書道部は「国際高校生選抜書展(書の甲子園)」で近畿地区優勝5回を誇る、書の強豪校です。「文化 × 農業」をテーマに機動展示と呼ぶ迫力満点の書道パフォーマンスを披露します！！



4 12:00~

キッズダンスパフォーマンス1部

滋賀県で活動しているチームによるダンスパフォーマンス。観客の皆さんと一緒に楽しめるプログラムもあります！ダンスをやりたいと思う人はぜひご参加ください！！



出演チーム

- 石部 FLAP ● 草津 イトマンフィットネスクラブ
- nana number ● Candy pop ・ Glass&C ・ fAcg ・ M's factory ・ M's Mill

5 13:00~ 講評：フォトグラファー やまぐち 千子

フォトコンテスト受賞作品の発表

「写真で表現！ 滋賀のめぐみフォトコンテスト」の受賞作品の発表・講評を行います。テーマは「滋賀の農業の魅力が伝わるもの」。詳しくはインスタグラム公式アカウントをチェック！！
[@shiga_megumi_photo]



6 13:30~ 出演：シンガーソングライター yokko

ミュージックライブ

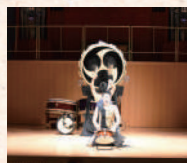
甲賀市出身の手話シンガーソングライター。2025年に滋賀県で開催される『わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ』のイメージソングの制作 & 歌唱も担当されています。手話歌のスタイルで、聴こえる・聴こえないに関係なくみんなで音楽を楽しみましょう！！



7 14:00~ 出演：ひむれ大鼓、かか大鼓

和太鼓パフォーマンス

近江八幡市を拠点に活動する和太鼓パフォーマンス。代表の大橋亮介さんはプロ和太鼓奏者として活動しながら、学校や地域でも和太鼓を盛り上げようと奮闘しています。カッコいい和太鼓の迫力ある演奏をお楽しみください！



8 14:50~ キッズダンスパフォーマンス2部

- 出演チーム ● 石部 FLAP ● 守山 BJC ダンスカンパニー
- RISA Kids number ● RISA number ● namix number ● Aクラス・Bクラス・Cクラス

15:50~16:00 エンディング

参加無料

ワークショップ

事前申込不要 当日整理券配布 先着順

1 おうみコットン夢つむぎ教室

滋賀で採れた綿を使ってオリジナルコースターをみんなで作ろう！

- 開始時間：①10:30~ ②12:30~ ③14:00~
- 体験時間：約40分



2 ベジフルフラワー教室

野菜や果物をブーケやオブジェとして仕立てた新しい「アート」である「ベジフルフラワー」を滋賀県産の野菜や果物で作ってみよう！

- 開始時間：①11:00~ ②12:30~ ③14:30~
- 体験時間：約50分



3 和太鼓体験

みんなで楽しく太鼓を叩いて「ドンッ！」という音を響かせましょう！

- 開始時間：①10:30~ ②12:00~ ③13:00~ ④15:30~
- 体験時間：約15分



4 映える写真の撮り方講座

プロカメラマンのやまぐち千子さんから映える写真の撮り方を教えてもらいます！お持ちのスマートフォンでプロのような映える写真を撮ることが出来るかも！？

- 開始時間：①11:00~ ②11:30~ ③14:00~ ④14:30~
- 体験時間：約30分



5 やさいのヒミツをのぞこう！
「てのひら 研究室」 by 成安造形大学

子どもも大人も切って触って、野菜のタネをあてるワークショップです！いつもは見えていないものを手のひらから触れてみませんか？

- 随時参加可能
- 体験時間：約30分

各ワークショップの開始時間、体験時間は予告なく変更の可能性があります。

イベントキービジュアルについて

イベントのキービジュアルを担当していただいたのは成安造形大学情報デザイン領域3年の武田果織さんです。

【ご本人からのコメント】

植物の種を花の形にしたデザインです。種をまき、花が実る。その花が種を残し、落ちた種がまた芽吹く。この植物のサイクルは、人と人との繋がりが文化の継承と同じではないかと考え、そこから着想を得て種で花を制作しました。種を使って工作することを親から教えてもらった経験から、当時感じた温かみを表現したく、手描きした種のイラストを使用しました。